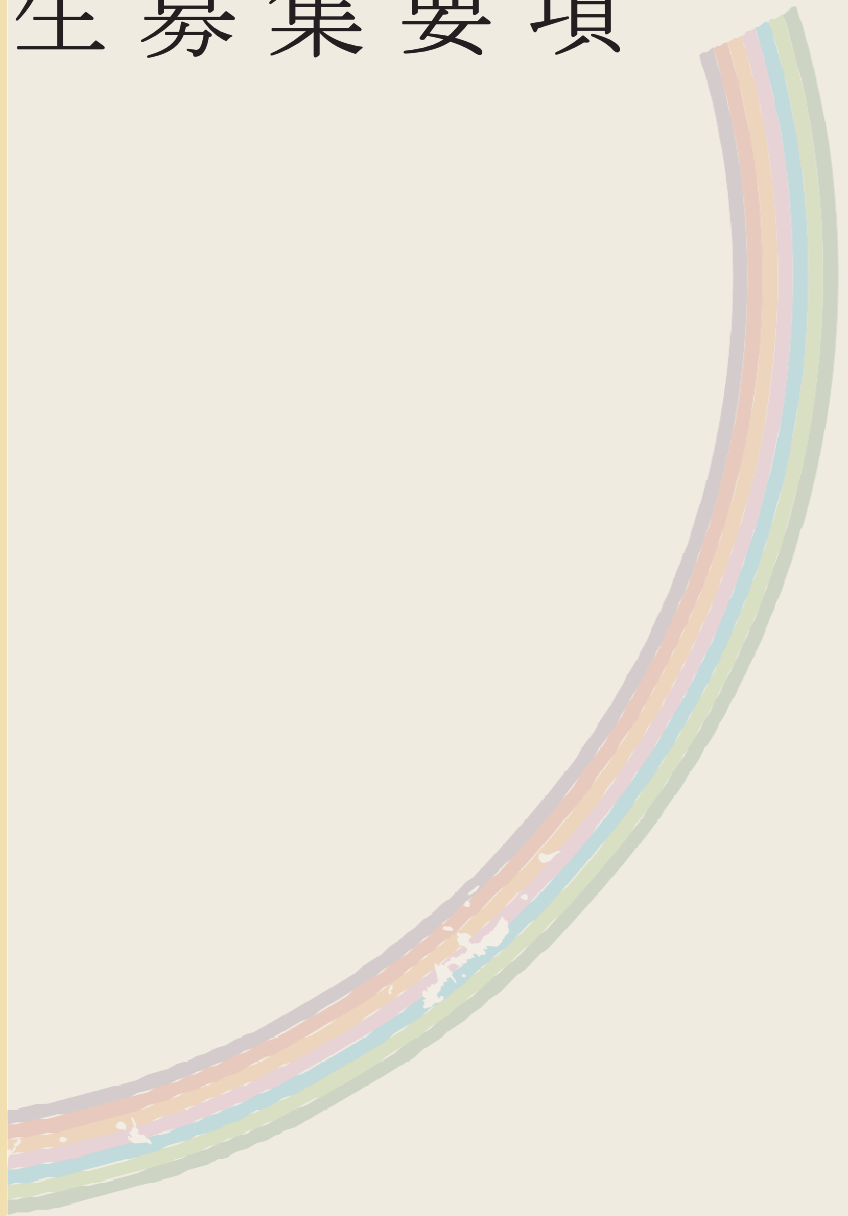


平成31年度

琉球大学大学院保健学研究科  
(博士後期課程)

# 学生募集要項

琉 球 大 学



# 琉球大学大学院保健学研究科（博士後期課程）

## 琉球大学大学院保健学研究科アドミッションポリシー（入学者受入方針）

心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有し、多くの人々の疾病予防と健康増進及び健康資源の解明に貢献する研究マインドをもった研究者及び指導者、そして高度専門職業人として、国内外で活躍することを志す人を求めています。

1. 沖縄の豊かな島嶼、海洋性、亜熱帯自然環境及び社会環境を基盤とする卓越した保健学研究を目指す人
2. 健康・長寿の維持増進及び再生や健康資源の開発に関する卓越した研究を目指す人
3. アジア太平洋諸国との国際学術交流を図り、島嶼国際保健に関する卓越した研究を目指す人

## 琉球大学大学院保健学研究科ディプロマポリシー

本研究科は、広い視野に立って精深な学識を授け、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者及び指導者を養成することを目的としています。

1. 健康長寿の維持増進及び再生に資する方策の開発ができること。
2. 健康資源の解明に関する研究を推進できること。
3. アジア・大平洋地域における島嶼保健の課題と対策、特に感染症予防対策についても総合的に研究ができること。

# 学生募集要項(日程表)

## (博士後期課程)

一般、社会人、外国人学生

	第1次募集	第2次募集
出願期間	平成30年8月27日(月) ～8月31日(金) (土・日を除く)	平成31年2月4日(月) ～2月8日(金) (土・日を除く)
語学試験、口述試験	平成30年9月25日(火)	平成31年3月1日(金)
合格者発表	平成30年10月18日(木)	平成31年3月15日(金)

出願資格認定

	第1次募集	第2次募集
出願期間	平成30年7月23日(月) ～7月27日(金) (土・日を除く)	平成31年1月7日(月) ～1月11日(金) (土・日を除く)
審査結果	平成30年8月中旬に本人宛通知	平成31年1月下旬に本人宛通知

※大学(6年の課程)を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者又は出願資格(1)の⑦⑧に該当する者

# 目 次

## 学生募集要項(日程表)

学生募集要項 .....	1
1. 専攻、領域及び募集人員 .....	1
2. 出願資格 .....	1
3. 出願資格認定について .....	2
4. 出願期間及び手続等 .....	2
5. 選抜方法 .....	5
6. 合格発表 .....	6
7. 入学手続 .....	6
8. 注意事項 .....	6
9. 第2次募集について .....	6
障がい及び震災に関する特例措置 .....	7
1. 身体に障がいを有する入学志願者の事前相談について .....	7
2. 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験 志願者の検定料に関する特例措置について .....	7
修学のための諸制度及び保険 .....	8
1. 長期履修制度 .....	8
2. 入学料及び授業料の免除制度 .....	8
3. 奨学金制度 .....	8
4. 保険について .....	8
研究科案内 .....	10
1. 目 的 .....	10
2. 修業年限 .....	10
3. 履修方法 .....	10
4. 学位の授与 .....	10
5. 指導教員の研究領域と研究課題内容(別表1) .....	11
6. 保健学研究科学生の年度・都道府県別入学状況(別表2) .....	13
7. 保健学研究科修了者の職種別就職一覧(別表3) .....	13

## 出願書類様式等

# 学生募集要項

## 1. 専攻、領域及び募集人員

専攻名	領域名	募集人員
保健学専攻	人間健康開発学	3名
	国際島嶼保健学	

## 2. 出願資格

### (1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者若しくは平成31年3月までに学位を授与される見込みの者(1年次修了者も含む)
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者若しくは平成31年3月までに学位を授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、若しくは平成31年3月までに学位を授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、若しくは平成31年3月までに授与される見込みの者。
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項にも規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(以下「国際連合大学」という。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は平成31年3月までに授与される見込みの者。
- ⑥ 外国の学校、上記出願資格④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)  
「大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成31年3月31日までに24歳に達する者

※上記⑦、⑧及び大学(医学部医学科、歯学部、薬学部又は獣医学部(6年の課程))を卒業した者及び平成31年3月卒業見込の者はP2「3. 出願資格認定について」を参照すること。

### (2) 社会人特別選抜

一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有する者で、2年以上の社会的経験を有する者

### (3) 外国人学生

次の各号の全てに該当する者とする。

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有する者
- ③ 「出入国管理及び難民法」における「留学」等修学に対応可能な在留資格を有する者又は入学後に有することができる者

### 3. 出願資格認定について

大学(医学部医学科、歯学部、薬学部又は獣医学部(6年の課程))を卒業した者及び平成31年3月卒業見込の者又は出願資格(1)の⑦、⑧により出願しようとする者は、次により出願資格の認定を受けること。

#### (1) 提出書類

**(注)出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り出願すること。**

(○印は、本研究科所定の用紙)

提出書類	注意事項	様式指定
① 出願資格認定申請書	必要事項を記入すること。	○
② 出願資格認定履歴書	大学卒業以降の学歴・職歴をすべて記入すること。	○
③ 志望理由書	本研究科を志望した理由及び博士後期課程での学習に必要な学力を有していると考えた点を記入すること。	○
④ 出願資格認定論文一覧	原著論文1編以上を有すること。	○
⑤ 最終学歴の卒業・修了証明書		
⑥ 資格認定通知用封筒	宛先を明記し、長形3号の封筒に362円分切手を貼付すること。	
⑦ 戸籍抄本(該当者のみ)	成績証明書及び卒業(見込)証明書等に記載されている氏名と現在の氏名が異なっている者のみ提出すること。	

#### (2) 出願期間等

出願期間	平成30年7月23日(月)～7月27日(金)(土・日を除く)
提出先	出願書類請求・提出及び照会先(5ページ)と同じ
結果通知	平成30年8月中旬に本人宛通知

※出願資格「有」と認定された者は、本要項に定める出願書類を提出してください。

### 4. 出願期間及び手続等

#### (1) 出願期間等

出願期間	平成30年8月27日(月)～8月31日(金)(土・日を除く) (受付時間 9:00～17:00)
語学試験、口述試験	平成30年9月25日(火)
合格者発表	平成30年10月18日(木)

(2) 出願書類等

出願者は、次の書類及び入学検定料納付書(大学用)を添えて、所定の期間内に提出すること。

**(注)出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り出願すること。**

(○印は、本研究科所定の用紙)

出願書類等	摘 要	様式指定
① 入学志願票・受験票	写真は、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。(上半身、脱帽)	○
② 成績証明書	出身大学長(研究科長)が作成し、厳封したもの。	
③ 修了(見込)証明書	出身大学長(研究科長)が作成し、厳封したもの。または、本研究科が作成した資格認定書。	
④ 検定料納付証明書 (大学用)	<p><b>検定料 30,000円</b> (別添の「検定料振込書」を使用してください)</p> <p><b>検定料振込期間 平成30年8月20日(月)～8月31日(金)</b></p> <p><b>※国費外国人留学生及び平成31年3月31日に本学大学院(博士前期課程・修士課程)を修了し、引き続き本課程に進学するものは不要。</b></p> <p><b>※特例措置対象者(7ページ下段参照)は検定料を振込まず、申請手続きを行ってください。</b></p> <p>1. 振込方法</p> <p>ア. 手書きの場合は、検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。 《依頼日、入学志願者氏名(フリガナ)、住所、電話番号、振込先(枠内に○をする)》</p> <p>イ. <b>必ず金融機関(銀行等)の窓口で振込み、ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。</b></p> <p>ウ. 振込手数料については、志願者本人負担となります。</p> <p>エ. 金融機関窓口から「検定料納付証明書(大学用)」を受け取る際は取扱金融機関収納印を確認してください。</p> <p>オ. 「検定料納付証明書(大学用)」は<b>入学志願票の「検定料納付証明書貼付欄」に貼り付け</b>して提出してください。</p> <p><b>※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。</b></p> <p>振込依頼人氏名は、先に募集区分(保健学研究科博士後期課程は771)、次に志願者本人氏名としてください。 例 771 ダイガク タロウ</p> <p>振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。</p> <p><b>受領書の写しを「検定料納付証明書(大学用)」の代わりに提出してください。</b></p> <p>※東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について(7ページ参照)</p>	○

出願書類等	摘 要	様式指 定
④ 検定料納付証明書 (大学用)	<p>2. 留意事項</p> <p>ア. 検定料が振込まれていない場合、「検定料納付証明書(大学用)」が出願書類に貼り付けされていない場合、「検定料納付証明書(大学用)」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類を受理しません。</p> <p>イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>① 特例措置対象者(7ページ下段参照)が検定料を振込んだ場合 ※上記①に該当する場合は、返還手続き(7ページ中段参照)を行ってください。</p> <p>② 検定料を振込んだものの、出願しなかった場合(出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合)</p> <p>③ 誤って検定料を二重に振込んだ場合 ※上記②、③に該当する場合は、(1)現住所、(2)電話番号、(3)志願者本人氏名(フリガナ明記)、(4)納付年月日、(5)納付金額、(6)返還請求の理由、(7)振込口座(①金融機関名②支店名、③預金種別、④店番、⑤口座番号、⑥口座名義(フリガナ明記))を記入した「返還金払戻請求書」(任意様式)を作成し、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書(大学用)」を同封して下記へ送付してください(封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください)</p> <p>※(返還は銀行振込で行います。保護者名義の口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受領後2～3ヶ月程度かかります。)</p> <p><b>送付期限:平成31年3月29日(金)</b> 送付先:〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL 098-895-8058</p>	○
⑤ 研究計画書	指定の様式に研究計画を記入すること。	○
⑥ 志願理由書	指定の様式に志願理由を記入すること。	○
⑦ 受験承諾書 (該当者のみ)	① 他の大学院に在学している者 ② 在職のまま、本研究科に受験し、入学しようとしている者	○
⑧ 業績報告書 (該当者のみ)	修士論文、原著論文、調査研究報告書等の別冊又は概要を提出すること。	○
⑨ 戸籍抄本 (該当者のみ)	成績証明書及び卒業(見込)証明書等に記載されている氏名と現在の氏名が異なっている者のみ提出すること。	
⑩ 推薦書 (外国人学生のみ)	出身大学の指導教員等が作成したもの、又は研究機関などの所属長が作成したもの。	○
⑪ 在留資格を証明するもの (外国人学生のみ)	日本国内に居住している者は、入国査証(Visa)の写し、住民票の写し(市区町村長が発行するもので記載事項の省略が無いもの。)等を提出すること。 日本国内に居住していない者は、「入国カード」の写し又は旅券(パスポート)等の写しを提出すること。	
⑫ 受験票等送付用封筒	宛先を明記し、長形3号の封筒に362円分切手を貼付すること。	



(注1) 表中右○印は、該当する出願書類等を示す。

(注2) 持参する場合は平日9:00～17:00までとする。(12:00～13:00の間を除く)

(注3) 郵送の場合は、必ず速達書留郵便とし、封筒の表に「保健学研究科博士後期課程出願書類在中」と朱書し、出願期間までに必着すること。なお、受付期間内に到着しない場合は受理しないので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送すること。

(注4) 外国の学校又は機関が作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付すること。

(注5) 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しない。

(3) 出願書類請求・提出及び照会先

郵便番号	〒903-0215
所在地	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地
担当	琉球大学医学部 学務課 入試・学事係
電話	098-895-1053又は1032(直通)
F A X	098-895-1092

## 5. 選抜方法

入学者選抜方法の概要は、次のとおりとする。

(1) 選抜方法

① 語学試験(英語)

保健・医療に関する知識及び論理的思考と表現力を総合的に評価できる課題を英語で出題する。なお、英語辞書の持ち込み(ただし、電子辞書類を除く。)を認める。

② 口述試験

修士論文又はそれに相当する研究成果、志望する研究分野に関する科目、研究計画等についてプレゼンテーション(約10分)を課し、面接(約5分)を行う。

(2) 4月入学を原則とする。ただし、特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認めるときは後学期(10月)入学も行う。出願期間、学力検査期日などは、必要に応じて別に定める。

(3) 選抜の基準

選抜に当たっては、本研究科の特徴、(2)学生の意欲、資質、これまでの実績を考慮して、3年で博士の学位を取得することができ、将来の活躍が期待される者を選抜する。

※1 既に実社会で勤務する者又は勤務経験を有する者で、入学を希望する場合は、実社会における研究活動を考慮する。

※2 外国人学生については、選抜に当たって語学が不利にならないように考慮するとともに、志願者の過去の学歴、業績等を十分に考慮して選抜を行う。その際、TOEFL、TOEIC等語学試験も考慮する。

(4) 試験日程及び試験場

期日及び試験場	時間	科目	備考
平成30年 9月25日(火) 琉球大学医学 部保健学科棟	9:00～10:30	語学試験 (英語)	筆記試験、辞書は英和・和英辞書の持込可(電子辞書類は不可)
	11:00～	口述試験	プレゼンテーション及び面接 (パワーポイントの使用・資料配付可)

(注1) 「語学試験」については、次に該当する者は免除する。(証明書等を付与すること)

①英検準1級合格者、②TOEFL:iBT72点以上、③TOEIC750点以上

(注2) 台風接近が予想される際は、琉球大学医学部公式ホームページ(<http://www.med.u-ryukyu.ac.jp>)で通知する。

※受験者は、8:30までに本学保健学科棟の試験会場に集合すること。

## 6. 合格発表

合格者の発表は次のとおり掲示するとともに、合格者に対しては本人に合格通知書を郵送で通知する。なお、電話等による問い合わせには応じない。

日 時	場 所
平成30年10月18日(木)14:00	本学医学部学務課掲示板(がじゅまる会館2階)に掲示

※同日時に琉球大学医学部ホームページに掲載する。(http://www.med.u-ryukyu.ac.jp)

## 7. 入学手続

### (1) 入学手続期間 平成31年3月22日(金)～25日(月)

入学手続等については、合格者に対して別途入学手続案内を送付します。

### (2) 入学料・授業料について

- ① 入学料 282,000円(予定額)
- ② 授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円)(予定額)

※ア 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

イ 授業料の納付については、申し出により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

ウ 「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。合格者に送付する「入学者心得」をご確認いただくか、学生支援課学生援護係にお問い合わせください。

## 8. 注意事項

- (1) 出願後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- (2) 入学検定料及び入学料については、国費外国人学生及び平成31年3月31日に本学大学院(博士前期課程・修士課程)を修了し、引き続き本課程に進学する者は不要です。
- (3) 本研究科論文博士の外国語試験を受験し、合格した者は、語学試験を免除とします。その場合は、出願時に外国語試験合格証明書(論文博士)の提出が必要となります。
- (4) 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- (5) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

## 9. 第2次募集について

合格者が募集人員に満たなかった場合は、次の期日に第2次募集を行う。なお、出願手続、選抜方法等は第1次募集に準ずる。

一般、社会人、外国人学生

出願資格認定

	第2次募集
出願期間	平成31年2月4日(月) ～2月8日(金) (土・日を除く)
検定料 振込期間	平成31年1月28日(月) ～2月8日(金)
語学試験、口述試験	平成31年3月1日(金)
合格者発表	平成31年3月15日(金)

	第2次募集
出願期間	平成31年1月7日(月) ～1月11日(金) (土・日を除く)
審査結果	平成31年1月下旬に本人宛通知

※同日同時に琉球大学医学部ホームページに掲載する。(http://www.med.u-ryukyu.ac.jp)

(注)合格発表に関しては、電話による問い合わせには一切応じない。

# 障がい及び震災に関する特例措置

## 1. 身体に障がいを有する入学志願者の事前相談について

本研究科へ入学を志願する者で、身体に障がいがある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、下記までに医学部学務課入試・学事係098-895-1053又は1032に申し出てください。

相談の時期: 第1次募集      **平成30年7月27日(金)まで**  
                  第2次募集      **平成30年12月21日(金)まで**

## 2. 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について

琉球大学では、平成31年度の全ての入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特例措置を実施します。

### (1) 措置内容

検定料の免除

大学院入試    30,000円

### (2) 免除の対象者及び必要書類

対 象 者	必 要 書 類
A. 東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
B. 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

### (3) 申請の方法

本学所定の様式(検定料免除申請書)に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないよう注意してください。

また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式(返還金払戻請求書)に、り災証明書等を添えて以下の入試担当へ申請してください。申請後、検定料を返還します。

※返還金払戻請求書の提出期限: **平成31年3月29日**

提出先

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

国立大学法人琉球大学 医学部学務課入試・学事係

電話 098-895-1053又は1032

# 修学のための諸制度及び保険

## 1. 長期履修制度

本制度は、「職業を有している等の事情」のある学生(家事従事者又は育児に当たっている者も含む)を対象に標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができ、かつ、その間の授業料の軽減を図るため、申請に基づき、当該研究科において審査し、最長6年間の修業年限で在学し計画的に課程を修了することにより学位を認める制度です。

希望者は、事前に指導教員と研究計画について相談し、職業を有する者は、長期履修制度の利用にあたっては、各自で勤務先の内諾等を得るようにしてください。

## 2. 入学科及び授業料の免除制度

「入学科免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。詳細は、合格者に送付する「入学者心得」の際にお知らせします。

問い合わせ先: 学生部学生支援課学生援護係      電話: 098-895-8135

## 3. 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金貸与制度があり、「予約採用」又は「定期採用」の申込が可能です。

### ① 予約採用

大学院に受験予定の者は、入学前に「予約採用」の申込ができます。

「予約採用」を希望する者は8月頃に掲示板及び琉球大学HPで募集の通知をします。

申請書類の提出期限は10月上旬予定となっています。本学保健学研究科を受験し、奨学金の「予約採用」を希望する者は、提出期限日を確認の上、申し込みください。

### ② 定期採用

入学後(4月)に申請を受け付けます。募集説明会の開催及び募集要項の配布については、3月中旬以降に掲示板及び琉球大学HPでお知らせします。

問い合わせ先: 学生部学生支援課奨学係      電話: 098-895-8136  
E-mail: gksygsn@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

## 4. 保険について

学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)

この保険は、在学中の実験、実習等の正課、学校行事中等に災害事故が起こった場合の補償制度です。詳細は、合格者に送付する「入学者心得」の際にお知らせします。

問い合わせ先: 学生部学生支援課学生援護係      電話: 098-895-8135

## —— 個人情報の取扱いについて ——

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など、修学支援に関わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※ 本研究科が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

### 平成31年度「私費(国費:申請予定)外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」

#### (公衆衛生改善のための保健医療人材育成プログラム)

##### 1. プログラムの概要

本プログラムは生活習慣病と感染症の二重構造や貧困問題といった沖縄と同様な環境を持ち、交流実績のある東南アジア・太平洋諸国を中心に保健医療関係者を受け入れ、直接、自国の公衆衛生の改善に寄与できる人材育成を行う。現在と過去の沖縄の保健医療における問題点とその解決策や、開発途上国に適した技術を総合的に修得できる点に特色がある。

##### 2. 対象とする地域・国

東南アジア・太平洋を中心とした開発途上国(特にラオス・ベトナム・フィリピン等)

##### 3. 募集人員

	国費外国人留学生	私費外国人留学生	日本人学生	計
博士前期課程	申請予定	2	1	3
博士後期課程	申請予定	1	1	2
計	申請予定	3	2	5

##### 4. 入学の時期:平成31年10月

※詳細は琉球大学保健学研究科ホームページをご覧ください。(平成30年10月以降掲載予定)

※国費外国人留学生については、文部科学省の「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」を申請し、採択された場合に募集を行います。

# 研 究 科 案 内

## 1. 目 的

21世紀日本の超高齢社会における最重要課題は健康・長寿である。沖縄県は世界でも長寿地域として注目されているが、近年は健康長寿の存続が危惧されている。また、熱帯・亜熱帯地域における国々では感染症さらには生活習慣病が大きな疾病負担となっている。これらの健康増進に関連した熱帯・亜熱帯地域に特有な健康問題解決を目的とする諸科学を統合した総合科学としての保健学的アプローチの研究・実践の場として琉球大学は最適の場所に位置している。

保健学研究科博士後期課程では、このような研究・実践の場として最適な条件を活かした教育研究を行う。人間健康開発学領域では沖縄の社会文化的環境及び亜熱帯性自然環境を基盤として、健康長寿の維持増進及び再生に資する方策の開発や健康資源の解明に関する研究を推進できる人材を養成する。国際島嶼保健学領域では、アジア・太平洋諸国等との国際学術交流を図り、アジア・太平洋地域における島嶼保健の課題と対策、特に感染症予防対策についても総合的に研究できる人材を育成する。

## 2. 修業年限

標準修業年限は、3年とする。

## 3. 履修方法

### (1) 履修指導

1年次前期は「研究計画」をもとに学生を交え、論文提出までの長期研究計画と年次研究計画を作成する。研究計画が順調に進行しているかを必修科目である「特別研究」において指導教員が毎学期ごとにチェックする。指導教員は年度末の研究経過報告、科目履修状況、研究計画の進捗状況などを勘案し、論文作成に向けた指導を行う。社会人学生、留学生にあっても上記の履修指導が順調に行えるよう配慮する。

### (2) 研究指導

研究指導は総合的な観点から行うが、研究が高度で専門的なものであり、かつ将来、自立して専門的業務や研究を遂行できる資質を涵養するよう指導する。研究内容が該当する国内外の学術誌での評価に耐えられるよう、論文作成に向けて段階的な研究指導を学期ごと、年次ごとに行う。

社会人学生、留学生にあっても上記の研究指導が順調に行えるよう配慮する。

### (3) 修了要件

修了要件に必要な単位数は共通必修科目10単位(保健学特別講義2単位、特別研究8単位)、領域必修科目2単位、当該指導教員提供科目2単位の計14単位以上とする。この要件を満たしたうえで、必要な研究指導を受けながら論文を作成し、かつ論文審査及び最終試験に合格することとする。

### (4) 履修方法の特例

- ① 社会人特別選抜により入学した者の履修方法は、上記(3)に定めるもののほか以下②による。
- ② 前記特例により履修する者は、夜間に開設する授業科目を履修して、課程修了に必要な単位を取得することができる。また、学生の希望により昼間に開講する授業科目を受講して必要な単位を取得することもできる。

## 4. 学位の授与

博士課程を修了した者には、博士(保健学)の学位を授与する。

## 5. 指導教員の研究領域と研究課題内容

11, 12ページ(別表1)参照

## 6. 保健学研究科学生の年度・都道府県別入学状況(別表2)13ページ参照

## 7. 保健学研究科修了者の職種別就職一覧(別表3)13ページ参照

(別表1) 指導教員の研究領域と研究課題内容

教育研究領域	教育研究分野	指導教員 メールアドレス (ダイヤルイン)	研究内容
人間健康開発学	健康増進開発学	高倉 実 minoru@ (1255)	1. 沖縄における健康の社会的決定要因に関する社会疫学的研究 2. 青少年や地域住民の健康指標と心理社会的関連要因に関する疫学的研究 3. 青少年や地域住民の健康危険行動に関する行動疫学研究 4. 児童生徒の身体発育に関する疫学的研究 5. 児童生徒におけるライフスキルと学校健康教育に関する研究
	精神健康開発学	與古田 孝夫 yokotat@ (1257)	1. 沖縄の地域特性と健康長寿に関する精神保健学的研究 2. 地域住民のストレス対処とメンタルヘルスに関する研究 3. 医療職者のメンタルヘルスに関する研究 4. 精神障害者の社会復帰と地域支援活動に関する研究 5. 精神障害者のセルフケア向上と看護援助に関する研究
	母子支援看護学	未定	
	在宅看護開発学	未定	
	高齢期支援看護学	國吉 緑 kmidori@ (1265)	1. 沖縄県介護施設における高齢者虐待に関する研究 2. 高齢者介護に関する研究 3. 高齢期の看護支援に関する研究 4. 慢性の健康問題をもつ成人・高齢期の個人や家族に対する看護支援に関する研究
	緩和看護学	未定	
	生理機能解析学	栗田 久多佳 awata@ (1254)	1. 人体の代謝機能と健康長寿に関する研究 2. カルシウム代謝に関する研究 3. 腎疾患と免疫に関する研究
	生体代謝解析学	原嶋 奈々江 nanaeh@ (1277)	1. 抗腫瘍治療薬抵抗性獲得の機序とその克服に関する研究 2. 亜熱帯植物由来の抗酸化物質とその抗腫瘍効果に関する研究 3. 低酸素誘導因子と抗腫瘍免疫応答に関する研究 4. がん微小環境制御とT細胞応答に関する研究
生体機能解析学	中尾 浩史 hnakao@ (1251)	1. 細菌の鉄獲得機構に関する研究 2. 細菌性食中毒予防に関する研究 3. 亜熱帯生物資源・食材の機能性に関する研究 4. 肝薬物代謝酵素の活性調節に関する研究	

※メールアドレスの後に「med.u-ryukyu.ac.jp」を入力してください。

ダイヤルインの前に「098 - 895 -」を付してください。

教育研究領域	教育研究分野	指導教員 メールアドレス (ダイヤルイン)	研究内容
国際島嶼保健学	国際環境保健学	未定	
	国際地域保健学	小林 潤 junkoba@ (1271)	開発途上国・沖縄における政策研究及び政策に還元できる学際的研究 1. 子供と女性(学校保健、思春期保健、母子保健)に関する研究 2. 貧困へき地における地域保健研究 3. 動物媒介性感染症に関する対策研究とイノベーションエコシステム形成に関する研究 4. 難民移民、高齢化社会に対するユニバーサルヘルスカバレッジの研究 5. 災害と学校保健に関する研究とイノベーション
	島嶼地域看護学	未定	新任着任予定
	国際看護学	豊里 竹彦 toyosato@ (1261)	1. 看護師のワークライフバランスに関する研究 2. 看護師の健康指標と心理社会的環境要因に関する研究 3. 看護実践におけるエビデンス構築に関する研究 4. 死生観とターミナルケアに関する研究 5. 看開発途上国における看護教育に関する研究
	血液免疫解析学	福島 卓也 fukutaku@ (1276)	1. 成人T細胞白血病・リンパ腫に関する分子生物学的研究 2. 成人T細胞白血病・リンパ腫に関する臨床病態の解析 3. 沖縄県のHTLV-1キャリアに関する研究
	形態病態解析学	金城 貴夫 kinjotko@ (1278)	1. 沖縄県のウイルス性疾患の病理学的検討と分子生物学的解析 2. 沖縄県の肺癌の組織像や分子生物学的特徴について 3. 扁平上皮化生誘導の機構に関する研究
	病原微生物解析学	平井 到 hiraii@ (1250)	1. 東南アジア諸国における抗生剤耐性細菌の発生・分布に関する分子微生物学的・分子疫学的解析 2. 医療機関における抗生剤耐性菌の分布に関する分子微生物学的解析 3. 肺炎クラミジアが分泌する毒素タンパク質に関する分子細胞生物学的解析 4. 肺炎クラミジアへの新規遺伝子導入システムに関する研究
	国際女性保健学	大嶺 ふじ子 omine-f@ (1270) 平成32年3月退職予定	1. 周産期における助産ケアのエビデンスに関する研究 2. 地域母子保健における助産師スキルの有効性に関する研究

※メールアドレスの後に「med.u-ryukyu.ac.jp」を入力してください。

ダイヤルインの前に「098 - 895 -」を付してください。



(別表2)保健学研究科学生の年度・都道府県別入学状況(過去10年 博士後期課程含む)

年度	県別等 入学定員	沖縄	宮崎	大分	佐賀	福岡	愛媛	鳥取	滋賀	神奈川	東京	青森	北海道	その他	外国	計
20年度	13	11									1			1	2	15
21年度	13	12									1				2	15
22年度	13	12						1				1			1	15
23年度	13	13											1		1	15
24年度	13	7	1	1	1						1				1	12
25年度	13	12									2					14
26年度	13	8					1		1		1			2		13
27年度	13	8								1	1			2	1	13
28年度	13	8									1			2		11
29年度	13	10								1				2		13
合計		101	1	1	1	0	1	1	1	2	8	1	1	9	8	136

(別表3)保健学研究科修士・博士前期課程修了者の職種別就職一覧

(平成17年度～平成28年度の集計)

年度	職種	修了者	看護師	保健師	臨床検査技師	養護教諭	栄養士	ソーシャルワーカー等	大 学 教 員 等	民間研究員 指導員等	民 間 企 業 等	進 学 帰 国	そ の 他 未 定	
平成17年度～平成29年度		140	35(19)	22(11)	13	3(1)	1	4(4)	9(5)	4	8(5)	17(6)	2	22(7)

\* ( )内は、社会人選抜者

\* 助産師資格者の就職は看護師及び保健師に含む。

## 所在地略図



◎ 試験場  
（上原キャンパス）

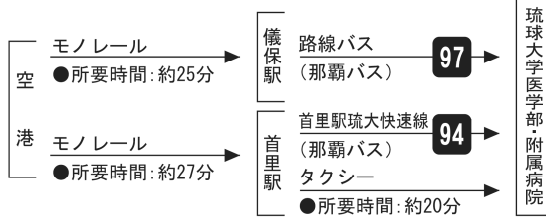
琉球大学千原キャンパス

琉球大学医学部・附属病院  
（琉球大学上原キャンパス）



---○--- 沖縄都市モノレール（ゆいレール）

### ■モノレール



### ■バス

路線バス

**97** 番線（琉大線）那覇バス

※ 20～40分に1本程度／所要時間：約50分

経路：那覇バスターミナル→国際通り（牧志）  
→儀保（首里）→琉大附属病院前

首里駅琉大快速線【平日のみ運行】

**94** 番線 那覇バス株式会社

※ 35～50分に1本程度／所要時間：約30分

経路：首里駅前→汀良三丁目→城東小学校前  
→石嶺二丁目→棚原→キリスト教短大入口  
→琉大附属病院前

## 医学部建物配置図

